



認定 NPO 法人スペースふう

循環型社会を目指して！



活動報告書 2019



スペースふう始まって以来の危機！！ 存続か廃業か ~ウィズコロナの時代に~

「使い捨てごみゼロのイベントを！」と掲げて事業を続けてきたのに、コロナ禍でイベントがゼロ！
借金を重ねるのか、事業をたたむのか、新しいことをやるのか……
3カ月におよぶ激論の末、スペースふうの目指すところが見えてきました。



新しい高圧洗浄機はとても音が静かで、愛称は「しずかちゃん」。しずかちゃんに活躍の場を！

コロナで浮き彫りになったスペースふうの課題

長池 今年初め、老朽化していつ壊れるかわからない洗浄機の買い替えのために約 1000 万円を借り入れし、2 月から返済も始まりしました。これから「がんばろう！」と意気込んだ矢先、新型コロナウイルスの感染拡大（以下、コロナ）によって、イベントがほぼ中止となりました。そこで、借金を返すために、また新たに融資を受け借金をするのかどうか、そもそもスペースふうを続けていくのか、など、連日たくさん話し合いました。そのなかで浮き彫りになったのが、スペースふうの経営課題でした。

河澄 食器 1 個 26.5 円のレンタル料のなかで、洗浄や検品、普及活動や事務的な作業、水道光熱費等の固定費までまかっている中で、もともとこの事業は儲からない。今は売り上げがゼロ、この状況で、これ以上借金しても絶対に返せない……。そこにどうしても私は引っかかっていた。

市川 でもさ、儲からなくても、スペースふうの事業をやめようとは言わなかったじゃん。

河澄 社会の問題解決は、儲からなくても、誰かがやらなくちゃい



理事長
永井 寛子

これ以上借金を背負うかどうかの重い決断に家族とも納得いくまで話し合いました。

けないっていうのは、立ち上げのときからずっとあった。私、この事業も、最初はお皿洗うのなんてヤダって反対だったんだけど、そういうことこそ NPO として関わらなきゃいけない問題だってことが、講演会や研修会、こういう話し合いのなかで気づかされてきたんだよね、私自身が。

永井 今回、最初は借り入れする前提で話し合いを進めていた。でもね、借金を返すための借金は違うよねってことで、借り

ずに、自分たちでやるだけのことはやろう！となった。まず、国の給付金助成金関係はすべて申請。それから、クラウドファンディングの準備も進めています。できることはなんでもやって、生き残ろう、というのが現状ですね。

長池 労務についても課題が見えてきました。休業手当の対象になったのが、雇用関係を結んでいる数人のみで、そのほかは有償ボランティアという扱いです。

市川 雇用している人と有償ボランティアの人では、業務的にはそれほど違いはなくて、ただ、勤務時間や日数などの融通は利く。でも、そこに甘んじることなく、みんな一所懸命に働いてくれていた。にもかかわらず、今回、まったく補償ができていないというのが、とても心苦しかったですね。それぞれ事情があって、ここだと働きやすいから来ている人もいるので、こうした個人の事情を受け入れることを私は大切にしたいんだよね。

永井 この標語はスタッフが自分たちで書いている。私たちが仕向けているんじゃない、自分たちから職場を盛り上げていこうって言葉が出てくるっていうのがね、すごいと思う。

市川 こういうところがいい。だから、長くここに居るんです、みんな。

長池 ところで、今回のコロナで終了したプロジェクトもありました。たとえば、富士川町の『ゼロ円プロジェクト』。(※5 ページ参照)

河澄 今回、「コロナでやめます。」と関係者に挨拶まわりしたら「せっかくやってくれたのに残念だね」と言ってくれる人も多かった。こういうつながりは今後も大事にしていきたいな、と強く思いましたね。

永井 コロナで社会のあり方が大きく変わるなら、リユース食器のやり方も関係も切り替えるチャンス。今回、気づかされたり、これまで学んだりを反芻しながら、新しい社会のなかで、自分たちの思いを実現できる「新しいやり方」を考えていきたい。

社会のごみの激増を自分事で考える契機に

長池 一方、社会の課題としては、テイクアウトでプラスチックの使い捨て容器がすごく増えてしまいましたね。

永井 テイクアウトのごみは、どの地域でも、すごい勢いで増えていて、みんな頭を悩ませている。その解決に向けて、京都府の亀岡市が実際に動いているんです。テイクアウトの際に、お弁当箱を持って行くと、市が発行する『ごみゼロクーポン』がもらえる仕組み。市民の発案から、行政が制度を作ってやっている事例を聞くと、すごく励みになる。

長池 個人の生活でも、テイクアウトのごみがすごく増えて、嫌だ

なって感じている人たちはいる。このタイミングでスペースふうとして何ができるか、まわりを巻き込みながら展開していきたいですね。

永井 今は「非常事態宣言だから我慢しましょう」だけど、テイクアウトが日常的なスタイルになってごみの多さが常態化したら、「SDGs の時代に逆行してるよね」と感じる人たちがたくさん出てくるはず。昔の以前には戻れなくても、それに代わる「ごみを出さない新しい方法」を作れないかな、と思っています。

視点や価値観の転換にどう関わっていくか

市川 そもそも人間がどんどん環境を壊して行って、最終的に、コロナが来ちゃった。環境のことをやらないと、またコロナが来るよってことを含めて、考えていくことが重要なんだよ。

永井 今、政治家も市民も「コロナと経済」で考えている。ここで経済を止めてしまったらみんなが仕事を失って暮らしていけないから、と経済を優先している。「コロナと経済」「コロナと環境」のどちらか一方ではなく、経済を進展させながら環境につなげていく「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」という考え方があります。環境保全を極める会社が大きな利益を得ることができる。これは、SDGs とコロナがどういう関係があるの？という疑問への答えになるかもしれません。

河澄 コロナはすごい衝撃だけど、それによってサーキュラーエコノミーみたいな新しいものを生み出していく力が出てきたっていうのが新しい現象かな。

永井 この先、コロナとともに生活していくにあたって、どうすれば、人間は自然と共生していけるかを、私たちは追求していかなきゃいけないんだと思っています。

長池 少し話を変えますが、これからのイベントに対して、リユース食器はどう関わっていくといいのでしょうか？

永井 イベントだって、密になっちゃいけないんだから、人数や時間に制限をかけたりして変わっていくよね。今、いろんなことが変わろうとしているときに、私たちのやり方を変えるチャンスも、今ここにきてるんだなって思う。リユース食器の提案の仕方や、



常勤理事 / 事務局長
長池 伸子

スペースふうには 2010 年から参加。議論した 3 ヶ月間、ストレスで発疹を発生。



常勤理事
河澄 春子

企画、普及活動担当。「ぶれないところ、私利私欲がないところが永井の魅力。ふうはその延長にあり、なくしたくない場所」

イベントへの関わり方も、ひとつ 26.5 円も……思いきった変え方を考えないと。

河澄 それには、経営者の立場、イベントをやる側の立場、私たちがみたいな仕事する立場だけでなく、来場者側も、それぞれが自分事としてコロナを受け止めて、どう変わるのかを考えていかなきゃいけない。

長池 今ほとんどのイベントが中止されているのでイベントを渴望している人たちは増えていて、これからの新しいイベントに「参加すること」がステイタスになって、そこに価値がついてきますね。

市川 使う食器も、リユース食器を使うのがステイタスになる！
長池 リユース食器を使ってごみを出さないイベントが増え、イベント参加の満足度が高まったら、そこに行くことに価値が出てくる。こうしたイベントの価値を高めるお手伝いがリユース食器にできるんですよって仕掛けを私たちから提案したいですね。

自分事で考えられる社会を 私たちの手で作っていくために

河澄 ひとりひとりが自分事として捉えれば、ごみは少しずつ減っていく、というのが私の持論。世の中を変えていくには長い時間がかかるんだけど、そこから変えていくしかない。

市川 テイクアウトのごみが増えてくると、「こんなのダメよね」っていう人が、必ず出てくる。そのためには、ずっと何らかの形で訴えつづけている人たちがいて、それが自分事になったときに初めて、「いや、このプラスチックごみはナシだね！」となる。スペースふうは田舎の小さな NPO だけど、その源をやり続けているってことかも。じわじわと、自分事として感じてもらえるように。

永井 環境破壊がウイルスの蔓延につながっていて、だから「スペースふうに頑張ってもらおうことこそがコロナ対策なんだよ」と言ってくださる方がいる。また、『ゼロ円プロジェクト』を「この町でごみの出ないイベントが実現できることが嬉しくて、協力してきた」という方々もいました。社会への責任を果たし、みなさんの期待に応えるためにも、この事業を続けていこう！と改めて強く思っています。

コロナをきっかけに「私たちも変わろう」という意志を確認し合ったスペースふう。具体的なアイデアをどんどん練っていきます！



常勤理事
市川 淳子

会計担当。永井に影響を受け、環境問題などに関心を持ち、河澄とともに創業から参加。

ここだけの話／

政府は、4 月より、『新型コロナウイルス感染症特別貸付』を施行。3 年間無利子、5 年据置の最長 15 年返済、しかも無担保と非常に条件の良いもの。窮地に追い込まれていたスペースふうは、すぐに金融機関に相談に行った。そして何度も何度も常勤理事会で激論を続けた後、申請書類は記入し、あとはハンコを押すだけに。まさにその時、「ちょっと、待って。もう一度考えよう！」。じつは、4 人の常勤理事のうち 3 人はすでに前期高齢者。返済完了の 15 年後は、最高齢者は 88 歳になる。そこまで理事として残るのか、次世代に託すのか。……沈黙……沈黙……それが果たして幸せなことなのか？
そして、ついにスペースふうは借入を断念。結論「今、私たちができることを、片っ端から全部やりきる！！」次号に続く。

【現在行っていること】

- 持続化給付金 ☐ 無事給付済
- 雇用調整助成金 ☐ 現在毎月申請＆受理
- 家賃支援給付金 ☐ 現在申請中
- 休眠預金緊急支援助成金【コロナ枠】 ☐ 申請準備中

クラウドファンディング

支援募集期間
8月6日～9月28日

『リユース食器の灯を消さない！
スペースふうの存続に支援を！』

<https://readyfor.jp/projects/helpspacefuu>
みなさまのご協力をお願いいたします！！

「スペースふう」は、
リユース食器を通して
循環型社会の実現を
目指します



リユース食器レンタルの利用普及事業

全国のイベント **523** 件 にリユース食器を提供。
約 **703,800** 個 のリユース食器が使われ
使い捨て容器ごみ削減に貢献しました。

10 イベント会場でリユース食器の運営を担当

新規のイベントの条件に応じて、エコステーションの設置、回収方法（デポジットの有無）等、会場にてリユース食器運営がしやすいよう主催者とともに取り組んできました。

参加イベント一覧

大法師さくら祭り / 春の蔵出し
ワインバー / 地ビールフェス
甲府 / ふるさと特産品フェア /
ポールラッシュ祭〜ハケ岳カン
ティフェア〜 / ワイングルメ祭り
(VF 甲府) / 県民の日記念行事
(富士吉田会場) / 第5回山梨ら
めんグランプリ / 県民の日記念
行事(小瀬会場) / 蔵出しワイン
in 横浜 (略称、順不同)



横浜まで運送
しました

サッカースタジアム × リユース食器 ヴァンフォーレ甲府 エコスタジアムプロジェクト



2019 シーズン (3 ~ 11 月) は、山梨中銀スタジアムでのホームゲームが 26 試合が行われ、ほぼ昨年並みの 56,000 個が利用されました。経費削減のため、エコステーション全体の運営体制の見直しが行われ、運営は工夫と検証を繰り返しながらのシーズンとなりました。スポーツスタジアムでリユース食器事業導入を検討する目的で韓国から視察団が訪れ、対応しました。

検品スタッフ
から一言



残留物検査を定期的に行ない、ウィルス・細菌に対し、今まで以上に衛生管理を徹底し、お客様に安心して食器を使用していただくと同時に、環境保全へと取り組みたいと思います。(中村)

利用者の声



来場者にも定着 リユース食器

ポール・ラッシュ祭
〜ハケ岳カンティフェア〜
事務局：齋藤 様 より

自然の中で行う収穫感謝祭なので環境への取組みは以前からの課題でしたが、いまやリユース食器はその最たるものとして来場者にも定着しています。導入に当たり、運用面だけでなく来場者や出店者の方々にどう理解していただくかなどの課題を、一緒になって考えてくださったことが事務局としては何より心強いことでした。今も最新の動向や昨年から改善点などアドバイスをいただいています。



事業部から

事業部は、①受注部門、②洗浄検品などの現場部門、③イベント対応部門で構成されており、リユース食器事業を運営しています。

リユース食器事業者をつなぐ全国ネットワーク ふうネット事業



リユース食器ふうネットとは

2006 年、全国各地でリユース食器レンタル事業の機運が起こってきたのを機に、スペースふうの呼びかけでリユース食器事業者のネットワーク「リユース食器ふうネット」を設立し、相互の情報交換、各拠点からの普及活動等を行っています。現在加入団体が 15 団体あり、毎年東京新宿で「ふうネットサミット」を開催しています。

第 13 回ふうネットサミット開催

2019 年度のふうネットサミットは「『プラごみゼロ宣言』先進自治体から学ぶ」をテーマに、鎌倉市松尾市長、岡岡市桂川市長、山梨県富士川町志村町長、東京都からは環境局課長のご参加をいただき、大阪商業大学の原田禎夫准教授のモデレーターのもと、パネルディスカッションを行いました。多くの市民にご参加いただき、「脱 使い捨てプラスチック」に向けて活発な意見交換が行われました。



環境啓発推進事業

県内外で伝える活動に力を入れました

2019 年度は山梨県内外で 19 回講演・講義等を行いました。保育園の子どもたちから高齢者の勉強会まで幅広い年代の方々へ、スペースふうの活動や使い捨てプラスチックごみ問題について理解していただく機会を提供しました。



「海の山梨から海ごみ問題を考えよう」より
主催：果実の楽園まきばら

行政・地域との協働による ごみのないまちづくり事業



町のレンタル
個数
67,000
個

2019 年度富士川町ごみゼロプロジェクト協賛事業所の皆様

(有)アイ・タイム中沢 / 青柳・鯉沢・豊栄(各)タクシー / 秋山真翠書道教室 / (有)秋山板金工業所 / (有)秋山板金自動車整備工場 / (株)旭食品 / (株)アシストエンジニアリング / いち柳ホテル (有) / inondo イーノンドー / (有)井上板金工業所 / (有)入倉鉄工所 / 内田青果店 / (有)大木スタジオ / (有)おかめ館 / (株)小澤工務店 / (株)小原屋原田商店 / 鯉沢貨物自動車 (有) / (有)鯉沢志村新聞店 / (公社)鯉沢法人会 / かわけみ工房 / カワテ看板店 / ギフトプラザML / (株)協栄住建 / 経王寺 / (有)岐西南管理センター / (有)岐南環境サービス / (株)岐南自動車教習所 / 岐南スズキ販売 / 旅館食堂国本屋 / グローバルハウス (株) / (有)郡司 / (株)ケイ・データエンジニア / (株)斎藤 / (株)三和商会 / 志村衛生堂薬局 / 昌福寺 / (株)松月堂 / 私立保育園たんぽぽ子どもの家 / (有)信栄 / (株)スギタ建工 / 正視堂眼鏡店 / 精良軒 / セレンゲティ / (有)総合葬祭河野 / 善住寺 / 第一リース (株) / 高橋商事 (有) / (株)ダスキン富士宮山梨店 / 田中塗装 / (株)TAMAYA ロジスティクス / (有)竹林堂 / 中華飯店三陽 / 中部ライフエナジー (株) / (株)テクニカルスチール / 土地家屋調査士秋山事務所 / 中込時計眼鏡店 / 中込ホンダ商会 / (有)中屋 / なとり動物病院 / (有)南嶺興業 / (有)野中林業所 / (株)はくばく / (株)はやぶさ地所 / 日出づる里活性化組合 / ビルテック (株) / (有)深沢電器商会 / (社)福戸川会福寿荘きらきら / (株)富士川 / (株)富士川クリーン / 富士川シーエーティーヴィ (株) / 富士川町建設安全協議会 (会員 13 名) / 藤間新流奈藤羅の会 / フレッシュエッグ英蓉園 / (有)文殊堂 / 穂積を育てる会 / (株)まほら / (有)ミート・高橋 / (株)水口屋佛具店 / みづくちや呉服店 / 三越松花園 / 御堂山妙性寺 / (有)みんなの家どんぐり / やさしい手甲鯉沢事業所 / (有)矢崎自工 / 安田レンタカー / 山梨ガーデン (株) / 山梨・じゅばんぐ / 山梨県民信用組合鯉沢支店 / 山梨信用金庫増穂支店 / (株)山梨中央銀行 青柳支店 / 山本薫公認会計士事務所 / ゆずの里橋本屋 / (株)萬屋醸造店 / レモン薬局 / 蓮華寺

2020 年コロナの影響により 5 月 31 日をもちましてこの事業を終了いたしました。これまで 7 年間ご支援いただいた協賛事業所の皆様には心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

町民の皆様には、これからのリユース食器のご利用は一部有料(町の補助金制度は継続しています)となりますが、これまで通りごみの削減にご協力をお願いします。



他団体とのパートナーシップで 環境課題に挑む事業



山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト

山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト（通称 Yama・P）は、深刻化する海洋汚染の問題を、海のない山梨に住む者として、自分事として考えよう、との立場から、スペースふうを含む複数の山梨県内の環境団体により 2018 年に設立されました。

川の清掃活動や、プラごみ削減に関する講演、環境教育など、行政や企業との連携活動を交えて精力的に行いました。8 月には「サミット」を開催し、プラスチックごみ ZERO へ向け「市民宣言」を発表しました。今後はこれを実効性のあるものとして、いかに生活の中に生かしていくか、発信していきます。

永井理事長が団体の代表に就任しています。
<https://www.facebook.com/YamaP.2018/>

広がれ！小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会

環境山梨のシンボルとして、ヴァンフォーレ甲府のホームスタジアムを全国に発信していこうと、県内の環境団体、学生、企業等がエコブースを拠点に環境啓発活動を行っています。

サッカー観戦を目的に来るサポーターが、楽しく環境活動を体験することで、日常生活の中にも環境意識が高まるよう、エコブースを運営してきました。2019 年度は、新しく 2 団体が加わり、14 団体となってエコブースの活動は活気づいてきました。

実行委員長を永井理事長、事務局を河澄理事が担っています。



認定 NPO 法人とは
 NPO 法人のうち「一定の基準を満たしている」と所轄庁（都道府県・政令市）が認めた法人となります。広く一般から支持を受けているか、その活動や組織運営が適正に実行されているか等、様々な視点から判定され、高い公益性を持ちます。

2015 年 3 月 3 日山梨県より認定 NPO 法人の認定を受け、
 このたび 5 年目にあたる 2020 年 3 月、無事更新されました。

認定の有効期間：2015 年 3 月 3 日～2025 年 3 月 2 日

認定 NPO 法人の条件の一つとなる絶対値基準は、各事業年度中の寄附金（賛助会員費含む）の額の総額が 3,000 円以上である寄附者の数が年平均 100 人以上必要となります。

ご支援くださった皆様とともに認定 NPO を更新できましたこと、深く感謝いたします。



これからも地球の未来のためにがんばります！

循環型社会を実現するために、皆様のご支援・ご協力をお願いします

会員募集

正会員 〈年会費〉団体・法人 10,000 円／1 □
 個人 5,000 円／1 □
 当法人の活動に賛同し継続して支援して下さる方
 総会での議決権はあります

賛助会員 〈年会費〉団体・法人 10,000 円／1 □
 個人 3,000 円／1 □
 当法人の活動に賛同し継続して支援して下さる方
 総会での議決権はありません

寄付募集

当法人を財政面から随時支援して下さる方 3,000 円／1 □～



※正会員は税の優遇措置がありません。賛助会員・寄付は税の優遇措置があります。確定申告の時期に証明書を送付いたします。

お振込先

ゆうちょ銀行振込の場合：郵便局払込取扱票にて 00250-5-95852 NPO 法人スペースふう
 銀行振込の場合：山梨中央銀行 青柳支店 普通口座 318874 特定非営利活動法人 スペースふう 理事長 永井寛子

皆さまとともに想いを事業という形に変え、循環型社会の実現を目指します

皆さまからいただいた会費、ご寄付はリユース食器の普及に伴う事業、社会の課題解決に向けた事業の力とさせていただきます。未来につなげる社会を目指して活動するスペースふうにご支援をお願いします。

支援者の声



一般社団法人甲州青年会議所
 監事 松山典嗣 様

「次世代に責任ある形でバトンを渡したい！」
 その永井理事長の一言は、プラスチックに囲まれている私自身の日常を見つめ直す大きなきっかけとなりました。リユース食器の普及、プラごみ削減事業など「循環型社会の実現」の導き手として私たちの在り方についてリードしてくださるスペースふうさん。その活動をこれからも支援し、持続可能な未来に向けて共に歩んでいきたいと思います。より良い未来を創っていくのは今日只今の一步と信じて。

松山様が住職を務める 法幢院にて「CREATE THE FUTURE2030 ～未来をつくる寺スクール～」8 月開催。永井理事長が講話し、キャンプではリユース食器が使われました。



田中塗装
 田中寿美子 様

富士川町の地元で仕事をしているので地域への恩返しという気持ちでスペースふうへの支援を行っています。3.11 以来、またこのコロナ禍においても、何かあればお互い助け合っていく関係を大切にしたいと思っています。



ニツ山正江 様

スペースふうのリユース食器レンタル事業や富士川町ごみゼロプロジェクト事業など、故郷山梨にこのような活動をしている方々がいらっしゃることを誇りに思っています。2 年前からは、ふうネットサミットに参加させていただき大変刺激を受けました。講師の先生からの海ごみ問題の話、全国から集まった方々のプラごみ削減の取り組みや課題などを聞き、一市民として自分にできることは何か考えるようになりました。今、新型コロナウイルス対策のため自粛生活で、ともすれば感染の不安にばかり気持ちが行きがちですが、長い目で考えることを忘れずに、プラごみ削減や地球環境問題に関心を持ち続けたいと思います。



初鹿和子 様

スペースふうがリサイクルショップを始めた当初から中心メンバーとして関わりました。なので、今でもスペースふうの分身だと思っています。こんな小さな町から地球規模という大きな問題を発信しているスペースふうを私なりにこれからも後押ししていきます。

あたたかいご支援をありがとうございます！

活動計算書

(単位:円)

	前期 平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで	当期 平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで
I 経常収益		
1 受取会費	320,000	345,000
2 受取寄附金	743,000	2,329,000
3 事業収益	20,832,259	23,412,849
4 その他収益	322,887	319,679
経常収益計	22,218,146	26,406,528
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費	10,438,129	11,951,060
(2)その他経費	11,021,403	15,094,779
事業費計	21,459,532	27,045,839
2 管理費		
(1)人件費	785,666	885,241
(2)その他経費	496,625	423,900
管理費計	1,282,291	1,309,141
経常費用計	22,741,823	28,354,980
当期経常増減額	△ 523,677	△ 1,948,452
III 経常外収益	0	0
IV 経常外費用	0	0
税引前当期正味財産増減額	△ 523,677	△ 1,948,452
法人税、住民税及び事業税	71,207	71,209
当期正味財産増減額	△ 594,884	△ 2,019,661
前期繰越正味財産額	4,905,744	4,310,860
次期繰越正味財産額	4,310,860	2,291,199

2019年度は、受取寄附金及び事業収益が増加し経常収益は、前期比 418 万円増加の 2,640 万円となりました。

一方で、大口イベントに対応するためリユース食器の大量購入及び、事業収益増加に伴う人件費増加により、経常費用は、前期比 561 万増加の 2,835 万円となりました。

その結果、当期経常増減額は前期比 142 万円減少の 194 万円の赤字となりました。

2月には、洗浄機の老朽化に対応するため、借入により、洗浄機の更新を行いました。3月にはコロナウィルスの影響でレンタルの中止が相次ぎ、4月以降レンタルはゼロとなりました。

次年度は、スペースふうが存続するためにもコロナ関係の支援申請やクラウドファンディングに取り組みます。

貸借対照表

(単位:円)

	前期 平成31年3月31日現在	当期 令和2年3月31日現在
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	3,144,452	7,437,178
売掛金	361,617	6,754
未収入金	0	0
貯蔵品	957,397	899,859
前払金	140,000	150,000
流動資産合計	4,603,466	8,493,791
2 固定資産		
有形固定資産	6,314,764	12,536,981
投資その他の資産	100,000	100,000
固定資産合計	6,414,764	12,636,981
資産合計	11,018,230	21,130,772
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	0	1,200,000
未払金	904,982	842,035
未払法人税等	71,000	71,000
未払消費税等	357,900	566,500
前受金	574,072	894,894
預り金	218,416	28,144
流動負債合計	2,126,370	3,602,573
2 固定負債		
長期借入金	0	8,636,000
役員借入金	4,581,000	6,601,000
固定負債合計	4,581,000	15,237,000
負債合計	6,707,370	18,839,573
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	4,905,744	4,310,860
当期正味財産増減額	△ 594,884	△ 2,019,661
正味財産合計	4,310,860	2,291,199
負債及び正味財産合計	11,018,230	21,130,772

財務諸表は、山本薫公認会計士事務所の助言のもと NPO 法人会計基準に準拠し作成しております。

スペースふうは、これからもさまざまなことに挑戦します!!
ごみゼロに挑戦し続けるスペースふうへのご支援をお願いします。

発行日: 2020年8月

発行: 認定 NPO 法人スペースふう

編集長: 長池伸子 デザイン: 上鶴恵子 対談構成: 島田環

印刷: 株式会社フォーワークス